

「牛なき世界」というドキュメンタリー映画が公開されるようです。

『牛由来のメタンが地球温暖化に重大な影響を及ぼしている！』『人は動物を経由せずに穀類を消費すればよいのだ！』という偏った意見に対抗するために作られたものと予告編で伝えています。

前述の意見に対して、もう少し大局的に見てみると、牛は地球の回復に役立っているのです。もしも本当に地球温暖化を軽減させようとした時には、地球上の動物がその役割を果たすでしょう。環境中に排出した炭素はどうやって土中に戻せばよいでしょうか…そこに家畜が貢献します。

農業は地球の維持に不可欠です。

牛なき世界は果たしてどうなるでしょうか…

以上予告より抜粋

※温室効果ガスの80%は二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)であり、メタン(CH<sub>4</sub>)は4%ほどである。大気中の蓄積においては、CO<sub>2</sub>が300年～1,000年なのに対して、CH<sub>4</sub>は12年である。また、そのメタンガスの排血量全体において牛由来のものは40%である。

SDGsを意識した行動は必要ですが、過度に委縮する必要はありません。業界の人も色々考えて手を打っているのですね。

